

令和 8 年 2 月 15 日

2026 年度 国民スポーツ大会スポーツクライミング競技
神奈川県代表選手選考基準

神奈川県山岳連盟神奈川県代表選手を選考する最終的な権限は、神奈川県山岳連盟（以下「本連盟」という。）が有する。選手の選考は、以下の基準に基づき本連盟強化委員会が推薦し、本連盟理事会で承認することで決定する。

1, 選考方針

- ・行動規範を重視し、神奈川県を代表するにふさわしい選手を選考する。
- ・関東ブロック大会を通過し、本国スポ(*1)でも上位入賞の可能性が高い選手の組み合わせを重視する。
- ・リード、ボルダー共にバランスよく取り組む選手を選考する。

2, 前提条件

- ・JSPO(*2)の定める国スポ参加資格を満たしている者。
- ・JMSCA(*3)に 2026 年度選手登録をしている者（A 登録か B 登録かは問わない）。
- ・神奈川県山岳連盟に加入する者。（中学 3 年生は保護者も加入）
- ・第 11 回ボルダー神奈川カップ並びに第 31 回クライミングコンペ・オール神奈川（以下「県予選」とする。）両大会に出場し、神奈川県代表選手を希望する者。

※第 31 回クライミングコンペ・オール神奈川が天候不順等の理由で、キャンセルとなった場合、第 11 回ボルダー神奈川カップの成績にて選考する。

※上記以外に、選考を希望される選手保護者の方々には、継続的な岳連事業遂行のため、選考された同年度の本連盟スポーツクライミング部の活動に協力していただきます。

3, 選考方法

(1) JSPO の定める 2026 年度「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の対象者を最優先で選考する。（ただしスピード種目は除外）

注：例年 6 月に特例措置対象者が発表されるため、原則として県予選に出場すること。

- ① ボルダー及びリードの両種目で特例措置対象になっている選手
- ② ボルダー又はリードのどちらからの種目で特例措置対象になっている選手

※複数の選手が該当する場合は、直近の BJC,LJC(*4)の成績を勘案し、総合的に判断して選考する。

(2) 県予選の順位点に基づき選考する。

県予選エキスパート男女カテゴリーに出場している選手のうち、

「成年」、「少年」の各種別ごとのボルダーとリードの順位点の「加法」にて計算を行う。

ただし、上記「2，前提条件」に該当しない選手の順位を除く。

注：順位点とは、順位が単独の場合は順位と同じ値、同着が複数人いる場合は平均順位の値のことである。

① 県予選の順位点の合計が小さな選手

(例1)	ボルダー	リード	合計順位点	代表権
A	1位	2位	3	正代表
B	3位	1位	4	正代表
C	2位	3位	5	予備登録

※順位点の合計が小さなAとBを正代表として選出する。

② ①で同点の場合、より小さな順位点を有する選手

(例2)	ボルダー	リード	合計順位点	最小順位点	代表権
A	1位	3位	4	1	正代表
B	2位	2位	4	2	予備登録
C	3位	1位	4	1	正代表

※合計順位点は同点だが、より小さな順位点を有するAとCを正代表として選出する。

③ ②で同順位の場合、県予選の予選ラウンドの順位点の合計が小さな選手

④ ③で同点の場合、より小さな予選ラウンドの順位点を有する選手

(3) 上記で決定しない場合

直近で行われた WORLD CLIMBING 及び JMSCA 主催の大会成績を勘案し、本連盟強化委員会で協議の上、総合的に判断して選考する。

4. 選考人数

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別正代表2名ずつ

継続的な県内選手輩出の為、必要に応じて、各種別予備登録選手を1名以上選出する。

*1 国民スポーツ大会

*2 公益財団法人日本スポーツ協会

*3 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

*4 ボルダージャパンカップ、リードジャパンカップ